

## 第 69 回横浜労災病院地域医療支援委員会議事録

- 【開催日時】 令和 6 年 3 月 1 2 日（火） 19 : 00～20 : 00
- 【場 所】 横浜労災病院病棟管理棟地下 1 階 地下大会議室
- 【進 行】 （議事）小川委員長  
（議事以外）八田地域医療連携室長（医事課長）
- 【出席委員】 小川委員長 鈴木副委員長 山本委員 岩田委員 山下委員  
深澤委員 宮下委員 片山委員 神山委員 相沢委員 北川委員  
木村委員
- 【欠 席】 谷田部委員

### 1 開会

### 2 三上病院長挨拶

### 3 議事

#### （1）入院・外来患者数等実績報告（令和5年度1月累計）

##### 1 紹介・逆紹介件数

紹介及び逆紹介件数（月平均）は、令和 5 年度 1509.0 件/月、1684.6 件/月となっており、前年度比で紹介+98.2 件/月、逆紹介+178.5 件/月という状況であった。

##### 2 紹介率・逆紹介率

紹介率及び逆紹介率は、令和 5 年度 94.5%、105.6%となっており、前年度比で紹介率+2.4%、逆紹介率 7.3%という状況である。

##### 3 入院患者数・平均在院日数

入院患者数及び平均在院日数は、令和 5 年度 511.5 人/10.2 日という状況であった。昨年度から取り組んでいるベッドコントロールチームが委員会となり、引き続き病床管理の効率的な運用を続けている。その結果として前年度比+27.1 人となっている。また 2 月実績は 549.9 人/日であり、12 月以降年度計画 520 人/日を達成している。

##### 4 外来患者数（延患者数・実患者数）

外来患者数は、令和 5 年度 1726.5 人/日であった。内訳を分析すると、前年比の実患者数が+46.2 人/日（1011.3 人/日）と増加している。

- 5 救命救急センター取扱患者数・救急搬送件数  
救命救急センター取扱患者数及び救急搬送数は、令和5年度 2157.1 人/月、871.2 台/月という状況である。前年度比は+241.1 人/月、+124.9 台/月と増加している。また、コロナ前の令和元年度の取扱患者数を超え、搬送件数については約 1.5 倍となっている。
- 6 新入院患者の経路別入院数  
新入院患者の経路別入院数は、令和5年度 1597.5 人/月と前年度比+107.4 人/月となっている。これは、外来実患者の増、救命救急センター取扱患者の増ということもあって、外来からが+75.0 人/月、救急からが+32.4 人/月という結果であった。
- 7 分娩件数・ハイリスク分娩件数  
分娩件数及びハイリスク分娩件数は、令和5年度 54.0 人/月、12.0 人/月と前年度より増加した。前年度比で分娩件数+5.0 人/月、ハイリスク分娩件数+2.7 人/月という状況であった。
- 8 分娩にかかる地域別患者構成比  
分娩にかかる地域別患者構成比は、病院所在地である横浜市港北区を含む旧横浜市北部医療圏が 78.4%とほぼ例年通りの状況であった。内訳をみると、港北区と都筑区が減少し、神奈川区と緑区が増加した。また、里帰り出産の影響で神奈川県外の分娩件数が増加している。
- 9 放射線（ノバルス・リニアック・IMRT）治療実績  
放射線治療実績については、令和5年度 28.6 件/月と前年度比 3.4 件/月とほとんど変わらない状況であるが、内訳をみると泌尿器科と脳神経外科の件数が増え、それ以外の診療科の件数が減少している。
- 10 ガンマナイフ治療実績  
ガンマナイフ治療実績については、令和5年度 38.4 件/月であり、前年度比△4.4 件/月という状況であった。
- 11 ダヴィンチ治療実績  
ダヴィンチ治療実績については、令和5年度 20.2 件/月であり、前年度比+2.0 件/月という状況であった。増加した要因としては、対象疾患が拡大したことが考えられる。

(2) 新規登録医療機関について

令和5年 12 月～令和6年1月にかけて新規登録医療機関は、医科が8医療機関となっている。港北区が5、戸塚区・金沢区、東京がそれぞれ1という状況となっている。

(3) 登録医制度実績について

令和6年1月末現在の登録医療機関数は 871 医療機関、医師数 1212 名となっており、医科が 709 医療機関、歯科が 162 医療機関という状況である。

共同利用の利用状況は以下のとおりで前年より増加傾向であった。

CT	295 件 (1 月累計)	29.5 件/月 (前年比+2.6 件)
MR I	158 件 (1 月累計)	15.8 件/月 (前年比+1.7 件)

(4) 横浜労災病院新病院事業基本構想について

平成3年の開院から30年以上の経過による老朽化のため「横浜ろうさい病院～次のステージへ～」を掲げ、病院建替えを進めていく。現在の駐車場部分を計画地としており、新規にHCUを12床設置予定。ドクターカー及び救急ワークステーションの整備も行う。NICUを3床追加するほか、1病棟当りの病床数は48床以下、多床室は4床以下とし、個室率の向上や2人床等、将来の可変性を確保した病床設計とする。手術件数の上昇に伴い、手術室は12室からハイブリットを含め16室に増加。2030年度の開院予定。

(5) 令和6年度地域医療支援委員会開催計画について

来年度は四半期に一回の開催予定である(第70回～第73回)。また第70回及び第73回は対面開催とし、第71回及び第72回は書面開催とすることも報告した。

(6) 登録医の会について

「登録医の会」が2月28日(水)4年ぶりに開催された。登録医と院内合わせて延べ159名(第1部151名、第2部156名)が出席した。時間が押した都合上、アンケート回答の案内が出来ず、回答率が低くなっている。

(8) 質疑応答・意見交換

(宮下委員) 救急患者の受け入れに関して、横浜労災病院は北米型ERか日本型ERか。(中村救急部長) 1次救急から3次救急まで診ている。診察後に必要であれば専門診療科へ振り分けている。北欧型ERに近いが横浜労災病院型と言える。

(宮下委員) 専門診療科の受入許可が必要な場合があり、受入れを断る病院があるが、横浜労災病院はいかがか。

(中村救急部長) 明らかに病名が分かれば専門診療科へ回すが、不確定な場合はまずは救急科で診ることとしている。

(山本(俊)委員) クリニック訪問に関して、新規開業のクリニックにも訪問しているか。

(事務局) 全ての新規開業を把握することは難しいため、クリニックから連絡があれば訪問している。

(山本(俊)委員) 登録医の案内を遠方まで送ってほしい。案内を送っているクリニックへ訪問をしているのか。

(事務局) 登録医、非登録医どちらのクリニックにも訪問している。事務局だけで訪問する場合もある。

(深澤委員) 共同利用はどれくらい待つのか。

(事務局) 通常は申し込みから1週間以内には使用できるようにしている。

(片山委員) 歯科にも登録医の案内を送ってほしい。また767は東京都であるが登録医になれるのか。

(事務局) 主要都市であり、新横浜までもそれほど遠くないことから登録医として承認した。

(小川委員長) 登録医になるには医師会へ加入していなくてもいいのか。

(事務局) 問題ない。

(山本(俊)委員) 新病院について、病床数は現行のままで個室が増え、延べ床面積がほぼ同じとのことだが、面積を増やさなくてよいのか。

(事務局) 現在の病院は、廊下や共用スペースが広く作られているためそれらを縮小することにより延べ床面積はあまり変更しない予定である。

(宮下委員) 新病院での災害対策についてはいかがか。

(事務局) 自家発電に関しては現在3日間分の発電は可能である。また太陽光発電については検討中である。備蓄についても患者及び職員分の食糧3日間を用意している。ただ、令和6年能登半島地震の状況から3日間分の備蓄では不足していると考え、今後は増やす予定である。

(岩田委員) 建替え工事が始まったら駐車場はどうするのか。

(事務局) 隣接するリハビリテーションセンターや日産スタジアムの駐車場を借りる予定である。

(小川委員長) 膵癌早期発見プロジェクトで紹介した患者がいるが、その後どうなっているのか。

(事務局) 消化器内科部長が中心となって行っている。超音波内視鏡検査で行っているが、検査まで約2週間程度頂戴している。早々に返書を作成するように消化器内科部長宛て連絡する。

#### 4 閉会

(事務局からの説明)

本日の内容は、後日、議事録としてお送りいたします。

また、次回の委員会については、後日改めてご連絡をさせていただきます。